

いつかを**今日**に変える

我が家の備え



大雨・台風の季節です。「明日やろう」と思っているうちに、そのときは突然やってきました。避難が必要になったとき、すぐに動ける準備はできていますか？近年は気候変動などによる異常気象が発生しており、「まさか」の事態が起こりえます。大切な命を守るために、日ごろから防災意識を高め、万が一に備えましょう。

問 防災危機管理課 ☎537-5664

きょうからできる防災

「自分の命は自分で守る」という「自助」の心構えを持って、日ごろから準備しておきましょう。

災害時の動きを決めておこう！

いざというときすぐに動けるように、自宅や職場近くの避難所、避難ルートを確認しておきましょう。



家族の避難行動計画を記入・共有できる「おおいマイ・タイムライン」をご活用ください。



危険な場所を知っておこう！

ハザードマップで、自宅や職場、避難所までのエリアの災害リスクを確認しておきましょう。



ハザードマップ



POINT

指定避難所以外にも、安全な親戚・知人宅、ホテルなどへの自主避難も選択肢に入れておきましょう。



POINT

特に造成地、がけの付近、河川の近くは、土砂崩れや洪水の危険が高い土地です。ハザードマップに色が塗られていなくても、早めの避難が必要です。



避難場所を確認しておきましょう

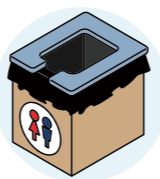
避難場所やハザードマップなどは冊子「わが家の防災マニュアル」や市ホームページに掲載しています。施設の改修工事などで使用できない場合もありますので、最新の情報は、市ホームページをご覧ください。

OITA防災 検索



携帯トイレ、備蓄していますか？

地震や台風などの災害が発生すると、断水などによりトイレの使用が困難になることがあります。特にマンションでは、配水管が損傷していても停電で排水ポンプが動かなくなることも想定されます。トイレの問題は衛生環境の悪化にもつながり、健康を守るためにも事前の備えが重要です。最低でも3日分(1人当たり5〜7回分)の携帯トイレを準備し、家庭や職場の防災グッズに加えましょう。



災害時要配慮者への支援を

高齢者や障がいのある人など、避難時に支援が必要な人がいます。自身と家族の安全を確保した上で、可能な範囲で支援の協力をお願いします。



ペットも連れて避難を

まずは自身の安全を確保し、避難の際はペットも一緒に避難してください。



大雨時でも、排水ポンプを止める場合があります

排水先の河川水位が上昇し堤防決壊の恐れがあるときなどは、雨水排水ポンプを一時的に止める場合があります。ポンプを止めるときは、市の防災メールでお知らせします。近くにポンプ場がある場合でも、もしもの備えをお願いします。

災害発生時の緊急連絡先

災害警戒・災害対策本部 ☎534-6111 (夜間・休日 ☎534-6119)

災害状況の報告先

土砂崩れなどによる道路の不通	道路維持課 ☎537-5769・5772
河川・水路の決壊、がけ崩れなど	河川・みたと振興課 ☎537-5632
ため池・農業用水路・農道の決壊など	生産振興課 ☎537-5627
水道管の破損・漏水、マンホールふたの浮上など上下水道に関すること	上下水道局 ☎538-1211(夜間・休日 ☎538-1812)

防災気象情報が大きく変わりました

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

変更例 (旧)「洪水警報」
→(新)「レベル3 氾濫警報」(洪水予報河川※)
→(新)「レベル3 大雨警報」(洪水予報河川以外の河川)

◎河川の氾濫に関し「レベル5 氾濫特別警報」が新設されます。
※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川(大分川、七瀬川、大野川など)

警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐ分かり、避難判断の目安が明確になります。

変更例 (旧)「大雨警報」
→(新)「レベル3 大雨警報」

「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

変更例 (旧)「土砂災害警戒情報」
→(新)「レベル4 土砂災害危険警報」

命を守る避難行動を！

大分地方気象台の発表や河川水位、雨の降り方などを参考に、市から避難指示などを発令します。市からの避難指示などに十分留意し、「キキクル」*などを参照して、危険を感じたらすぐに避難できるように備えておきましょう。

*キキクル…災害の危険を地図上で視覚的に確認できる気象庁の防災サービスでWEBサイトなどで確認できます。

警戒レベル4 避難指示 発令

危険な場所にいる人は、必ず避難！

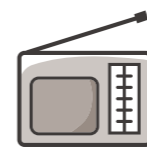
警戒レベル3 高齢者等避難 発令

高齢者など、避難に時間のかかる人は避難開始！
市が指定している緊急避難場所を開設します

※警戒レベル3の発令前に避難する必要があるときは、福祉保健課(☎537-5996、夜間休日☎534-6119)へご連絡ください。

最新の気象情報をチェック

大雨・台風時は、テレビやラジオ、気象庁ホームページなどで最新の気象情報を入手して、「早めの避難」ができるようにしましょう。



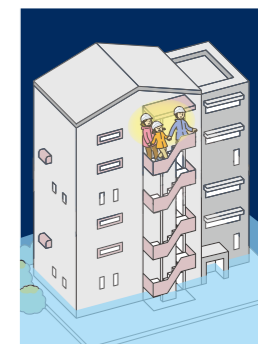
市の防災メールでは、各種災害情報や気象情報、避難所開設情報などをお知らせしています。利用無料です。登録はこちら▲



移動に危険を伴うときは「垂直避難」を

すでに浸水して地面が見えない(目安は50cm以上)、水の流れが速い、雨や夜間で視界が悪いときは、用水路やマンホールなどの危険箇所が分かりづらく、屋外への移動は危険です。自宅2階や近隣の建物の高層階など、より安全な場所へ一時的に垂直避難しましょう。

- ☑ 明るいうちに避難を
夜間に大雨が予想されるときは、夕方までに避難しましょう。
- ☑ 原則徒歩で
車は、浸水によるエンジン停止や水没の危険があります。
- ☑ 長靴はNG!
長靴は水が入って動きにくくなるので、運動靴を履きましょう。荷物は最小限で、リュックなどに入れて両手が使えるようにしましょう。



非常持出品を備えておこう！

- ☐3日分以上の飲料水(1人1日3ℓ)と食料
- ☐懐中電灯 ☐携帯ラジオ ☐ヘルメット
- ☐モバイルバッテリー ☐医薬品
- ☐マスク ☐衣類 ☐タオル ☐軍手
- ☐ウェットティッシュ ☐ライター
- ☐ビニール袋 ☐携帯トイレ ☐現金
- ☐マイナンバーカード(マイナ保険証) など



災害時の備蓄は、国や自治体による「公助」と、家庭での「自助」の連携が不可欠です。南海トラフ地震などを想定した場合、家庭では3日〜1週間以上の備蓄とローリングストックが推奨されています。

POINT

- 日ごろから食料を買い置きして賞味期限の古いものから消費する「ローリングストック法」がおすすめです。
- 避難する際は、飲料水や食料、マット、スリッパなど、必要なものは持参をお願いします。

